

- フェムトセルとは、一つの携帯電話基地局が、オフィスや宅内といった非常に狭いエリア・セルをカバーするシステム。
- 「フェムト」は、1000兆分の1を表す数の単位であり、非常に小さいことを示している。

フェムトセル基地局の特徴

- 一の携帯電話基地局で半径数メートル～数十メートル程度の非常に狭いエリアをカバー
- 超小型(空中線電力20mW程度以下)
- イーサネット回線やブロードバンド回線に接続可能

(参考)フェムトセル方式の超小型基地局

例:

出力	20mW
ユーザ数	4
大きさ	135×184×40mm
重量	約0.6kg

出力	20mW
ユーザ数	4
大きさ	135×187×53.5mm
重量	約0.3kg

- 高層ビル・宅内・地下街等における携帯電話等の不感エリア解消に有効
- 基地局当たりの収容人数を数名程度とすることで、従来の携帯電話サービスよりも高速のサービス提供が可能
- FMC型のサービス(移動通信サービスの契約者が契約する固定ブロードバンドを利用した宅内外一体型のシームレスサービスの提供)の実現

フェムトセル基地局の導入等に伴う制度整備等

- 電波法の一部改正
→免許人以外の者に特定の無線局の運用を行わせることを可能とする。
- 電波法施行規則等の一部改正
→フェムトセル基地局を免許人以外の者による運用を可能とする無線局とし、無線設備の技術基準を定める。等

平成20年10月1日施行

- フェムトセル基地局の活用に係る電波法及び電気通信事業法関係法令の適用関係に関するガイドライン

平成20年12月2日策定

携帯電話事業者の対応状況

- **NTTドコモ**
平成19年11月から不感エリア対策として運用開始
- **ソフトバンクモバイル**
実用化に向けて開発・実験中

【出典：総務省作成資料をもとに作成】

4 電気通信事業の競争政策の動向

